

甲南一貫教育部門奨励金

(フロンティアサイエンス学部 2021年3月卒業)

自己増進の精神

私は甲南平生拾芳奨励金の授与者に選択された誇りが本学における勉学の向上に大きく寄与したものと確信しております。甲南大学における4年間に日々はこの誇りを糧に、学習生活と研究をより有意義に過ごすことができました。

大学1、2年生では、フロンティアサイエンス学部における研究と化学に専門性のある学び以外に、岡本 Day を活用した幅広い分野の知識を修めることができました。私が1年生の時に始まった岡本 Day は、通常の授業では得ることができない様々なことに挑戦することができます。私は修士課程での海外学会の参加を見据えて英語への慣れが必要になると考え、現在もこれを大きな目標に掲げています。英語に慣れる経験を得るため、私は国際交流センターの LOFT で開催されている学内国際交流プログラムに積極的に参加しました。留学生や LOFT アシスタントとの交流を2年間重ねた結果、私はフロンティアサイエンス学部生として初めてグローバルサーティフィケート3級を取得することができました。交流プログラムを重ねる中で、フロンティアサイエンス学部の学生以外との交流も活発に行い、現在も交流を続けています。他学部の学生との交流は、フロンティアサイエンス学部では得る機会が少ない知識や発想を学び、異なる分野への興味を持つきっかけになりました。

3年生以降はバイオ計測化学研究室に所属し、ペプチドを用いたアレルギー感作試験法の開発や、材料応用に向けた解析などの研究を行いました。研究室では先輩方の論文執筆に関連する測定や査読に携わり、現段階で2報の論文の執筆に協力することができました。この経験から得ることができた先生や先輩方と共通の目的を協力して達成する経験は、現在執筆中の卒業論文に向けた計画の構築などに活かされています。

私は甲南大学を卒業後、甲南大学大学院フロンティアサイエンス研究科に進学します。私はより高度で専門的な知識の習得に励むと同時に、情報解析分野や分子シミュレーション分野などの生化学以外の分野の学会にも積極的に参加し、幅広い知識の習得と人脈の形成を目指します。実験面では実験計画の立案、実践から計画遂行能力を養うことで、修士1年生の段階で学会発表や論文の作製、投稿を経験し、修士2年生には国際学会などで発表できる成果を挙げたいと考えています。また後輩に研究のノウハウや研究倫理といった研究だけではわからないことを教えるなど、後輩への指導も積極的に行い、説明能力や指導力を養いたいと考えています。このような経験を得ることで、修士課程を修了後、私が社会に通用する研究者として貢献できるように切磋琢磨いたします。

私は甲南大学での4年間の日々を甲南平生拾芳奨励金の授与者としての誇りと共に過ごしてきました。大学を卒業後もこの誇りと向上心を持って精進してまいります。